

代表者名	小山田 雍	所管部課名	教育庁 保健体育課
所在地	秋田市八橋運動公園1-5	設立年月日	昭和 55年 1月 29日

【沿革及び県の出捐理由】

秋田県における学校保健に関する調査研究及び学校保健思想の普及啓発をはかり、学校保健の向上に寄与するため学校医をはじめとする有志と県が基本財産を拠出し、公益事業の実施団体を設立した。(学校保健の一層の推進)

【出捐者】(20年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	20,000	37.0
市町村	25	1,520	2.8
その他	-	32,568	60.2
計	-	54,088	100.0

【事業】

①主たる業務

- ① 学校保健思想の普及啓発、広報。
- ② 児童生徒の健康の調査研究。
- ③ 学校保健関係者の指導研修、顕彰。
- ④ 研修会、講習会の開催、関係機関との連携。

②事業実績

(回)

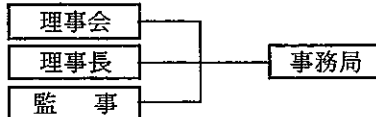
事業名等	17年度	18年度	19年度
学校保健対策事業	25	29	32

③19年度事業概要及び20年度事業計画・目標

平成19年度事業内容 健康診断、健康相談、歯の健康教室、地域保健事業  
 平成20年度事業計画 健康推進対策事業を希望する学校全て実施を検討し、本会独自の事業も推進する

【組織】

①運営機構



②役員数 (H20. 7. 1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤		14		2
内、県退職者				
内、県職員		1		
計		14		2
内、県関係者		1		0

③職員数 (H20. 4. 1現在)

(人)

正職員	1	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者			
出向職員		50歳	9年
内、県職員			
臨時・嘱託			
内、県退職者			
計	1	正職員平均年収	2,211千円
内、県関係者	0		

役員報酬支給対象者数	0人
役員報酬支給対象者平均年齢	- 歳
平均役員報酬額	- 千円/年

【財務】

①損益状況 (19年度)

(千円)

	金額	金額
経常収入 A	5,002	
受託事業収入	764	
補助金収入	630	
寄付金収入	2,906	
運用益収入	666	
その他	36	
経常支出 B	5,242	
人件費	2,271	
その他	2,971	
経常損益 C=A-B	△ 240	
経常外収入		
経常外支出		
当期損益	△ 240	

②財務状況 (19年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	1,482	2.7
固定資産	54,088	97.3
資産計	55,570	100.0
流動負債	73	0.0
短期借入金	0	0.0
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	73.0
引当金等	0	54088.0
負債計	73	1409.0
基本金	54,088	97.3
剰余金	1,409	2.5
資本計	55,497	99.9
負債・資本計	55,570	100.0

県の損失補償額	0	県の債務保証額	0
---------	---	---------	---

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中小企業退職金共済制度利用		

【県の財政支出】

(千円)

	17年度	18年度	19年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	946	805	764	健康推進対策事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	17年度	18年度	19年度	17-18増減	18-19増減
健全性	自己資本比率	%	100.00	100.00	99.87	0.00	▲ 0.13
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%			2,030.14		2,030.14
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	1,629	1,649	1,409	20	▲ 240
	経常利益率	%	2.83	2.18	▲ 4.80	▲ 0.65	▲ 6.98
	総資本利益率	%	0.30	0.22	▲ 0.43	▲ 0.08	▲ 0.65
発展性	経常収入額	千円	5,824	5,549	5,002	▲ 275	▲ 547
効率性	総資本回転率		0.10	0.10	0.09	▲ 0.00	▲ 0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	5,824	5,549	5,002	▲ 275	▲ 547
	人件費比率	%	36.61	39.85	45.40	3.24	5.56

2 経営目標の達成状況

経営目標			17年度	18年度	19年度	20年度
経営改善指標	寄付収入額 (千円)	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	3,885	3,444	2,906	
経営改善指標	管理費 (千円)	目標	311	400	400	400
		実績	411	403	397	
事業成果指標	学校保健ゼミナール参加者 (人)	目標	260	250	250	250
		実績	187	216	202	
事業成果指標	事業の開催数 (回)	目標	25	25	25	25
		実績	25	29	32	
	顧客満足度指数	目標	-	60	65	65
		実績	-	47	48	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成14年度以降は黒字財政をずっと維持してきたが、今年度は寄付金拡大を打ち出していたものの赤字財政となってしまった。管理費の削減に努め、効率的、合理的な事業を進めてきたが、寄付収入が目標額に達しなかったことが赤字財政となった要因の一つである。協賛金、寄付募金活動を確実にいき、現状維持に努めたい。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
・健康推進対策の受託事業については、収支の対応が明確になっている。 ・寄付金に含まれる賛助金収入(児童生徒一人当たり20円)2,211千円は、経常収入の44%を占めている。福利厚生費を含めた人件費2,577千円は、経常収入の51%を占めている。 ・寄付金収入(賛助金を除く。)が、前年度比377千円減少したことが経常損益がマイナスとなった要因であるが、収支構造そのものの検討も望まれる。	